

## 第2回「秋田県内企業景気動向調査」結果

(平成23年11月調査)

### 【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値」(前年同期比)でみて、▲4.0(21.0ポイント上昇)と依然「悪い」超ながら回復が見られた。今回調査における山形のDI値は▲5.8であり、両県はほぼ同水準となっている。
- **業種別**にみると、建設業で▲3.0(26.4ポイント上昇)、製造業で▲4.5(22.2ポイント上昇)、卸・小売業で▲13.0(6.1ポイント上昇)、サービス業で4.8(31.0ポイント上昇)となり、全業種において回復が見られた。特にサービス業の回復が大きく唯一プラスに転じている。
- **地域別**にみると、県北で6.7(48.0ポイント上昇)、中央で▲3.4(20.6ポイント上昇)、県南で▲11.3(7.1ポイント上昇)となり、3地域とも回復が見られた。特に県北の回復幅が大きく、前期の「悪い」超から「良い」超に転じている。
- **先行き見通し**は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲23.0(19.0ポイント下落)と再び悪化が見込まれている。これは山形の▲13.1(7.3ポイント下落)よりも下落幅が大きく、厳しい見通しとなっている。
- **特別調査：冬季ボーナスの支給動向について**  
冬季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、全業種で61.0%が「支給する」と回答した。この割合を山形と比較すると秋田の方が12.9ポイント高い。  
冬季ボーナスを「支給する」と回答した企業に対して支給額について尋ねたところ、全業種では29.3万円であった。これを山形と比較すると秋田の方が1.5万円高い。

平成23年12月

株式会社フィデア総合研究所

## 目次

I. 県内企業の業況.....	1
1. 概況.....	1
2. 業種別の動向.....	2
(1)業種別の概況.....	2
(2)業種別DI値の動向.....	3
3. 地域別の動向.....	7
(1)地域別の概況.....	7
(2)地域別DI値の動向.....	8
II. 景気の天気予報図.....	11
III. 特別調査《冬季ボーナスの支給動向》.....	12
1. 冬季ボーナスの支給動向.....	12
2. 冬季ボーナスの支給額.....	13
<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>.....	14
<参考資料Ⅱ：調査の概要>.....	14

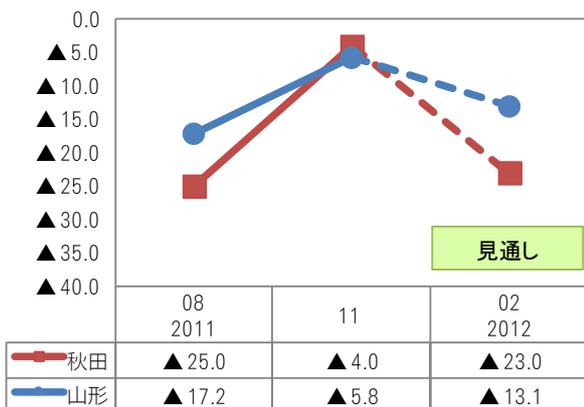
## I. 県内企業の業況

### 1. 概況

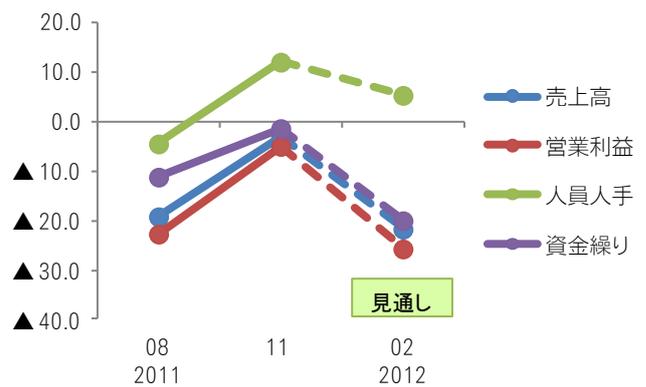
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況D I 値(前年同期比)」で見ると、▲4.0(21.0ポイント上昇)と依然「悪い」超ながら回復が見られた。今回調査における山形のD I 値は▲5.8であり、両県はほぼ同水準となっている。

先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲23.0(19.0ポイント下落)と再び悪化が見込まれている。これは山形の▲13.1(7.3ポイント下落)よりも下落幅が大きく、厳しい見通しとなっている。

図表 1 全業種「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



図表 2 全業種「各種D I 値(前年同期比)」の推移



全業種 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	(前期比)	前期予測					
H 23.08 (n=312)	▲25.0	-	-	▲19.2	▲22.7	▲4.5	▲11.2
H 23.11 (n=300)	▲4.0	(21.0)	▲13.8	▲3.0	▲5.0	12.0	▲1.4
(前期比)	-	-	-	(16.2)	(17.7)	(16.5)	(9.8)
H 24.02 (n=300)	▲23.0	(▲19.0)	-	▲21.7	▲25.7	5.3	▲20.0
来期予測	(前期比)	-	-	(▲18.7)	(▲20.7)	(▲6.7)	(▲18.6)

※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ値。

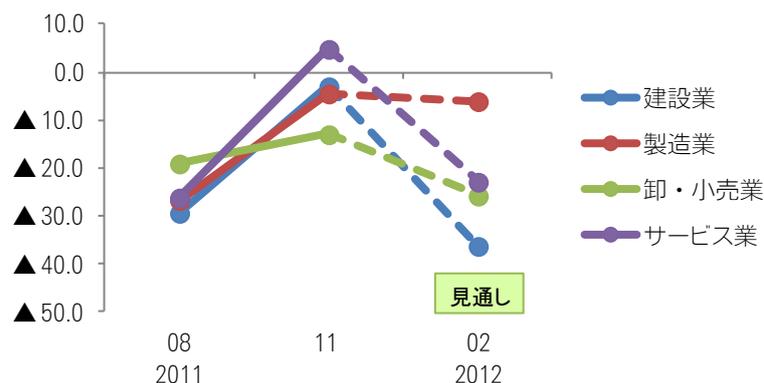
## 2. 業種別の動向

### (1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、建設業で▲3.0(26.4ポイント上昇)、製造業で▲4.5(22.2ポイント上昇)、卸・小売業で▲13.0(6.1ポイント上昇)、サービス業で4.8(31.0ポイント上昇)となり、全業種において回復が見られた。特にサービス業の回復が大きく、唯一プラスに転じている。

先行き見通しは、全業種で悪化する見込となっており、建設業が▲36.3(33.3ポイント下落)と大きく悪化、サービス業も▲22.9(27.7ポイント下落)で再びマイナスに転じる見込み。

図表 3 業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



業種別 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 23.08 (n=312)	▲ 25.0	▲ 29.4	▲ 26.7	▲ 19.1	▲ 26.2
H 23.11 (n=300)	▲ 4.0	▲ 3.0	▲ 4.5	▲ 13.0	4.8
(前期比)	(21.0)	(26.4)	(22.2)	(6.1)	(31.0)
H 24.02 (n=300)	▲ 23.0	▲ 36.3	▲ 6.1	▲ 25.8	▲ 22.9
来期予測 (前期比)	(▲ 19.0)	(▲ 33.3)	(▲ 1.6)	(▲ 12.8)	(▲ 27.7)

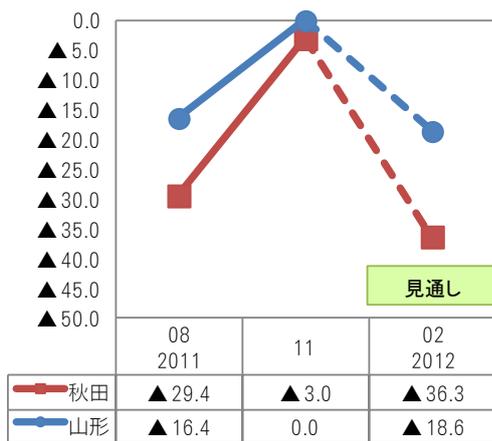
## (2)業種別DI値の動向

### ① 建設業

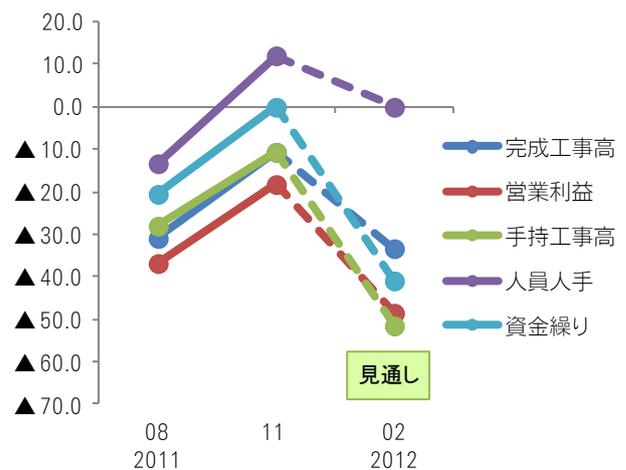
「自社の業況DI値(前年同期比)」は▲3.0(26.4ポイント上昇)と依然「悪い」超ながら回復となり、前期に予測した▲39.7を大きく上回り、山形 0.0(16.4ポイント上昇)とほぼ同水準となっている。「各種DI値(前年同期比)」でみると、すべての項目において改善がみられ、がれき処理等の被災地における求人の増加もあり、人員は不足傾向に転じている。

一方、業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が一転して▲36.3(33.3ポイント下落)と厳しい見通しを示しており、山形▲18.6(18.6ポイント下落)よりも下落幅が大きい。

図表 4 建設業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表 5 建設業「各種DI値(前年同期比)」の推移



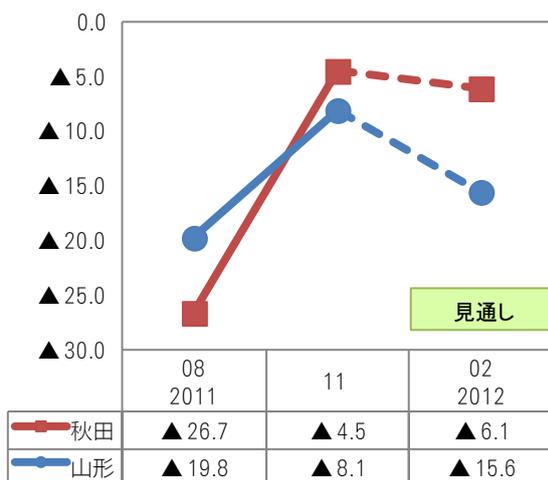
建設業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	(前期比)	前期予測						
H23.08 (n=068)	▲29.4	-	-	▲30.9	▲36.8	▲28.0	▲13.3	▲3.0
H23.11 (n=066)	▲3.0	(26.4)	▲39.7	▲10.6	▲18.2	▲10.6	12.1	0.0
(前期比)	-	-	-	(20.3)	(18.6)	(17.4)	(25.4)	(3.0)
H24.02 (n=066)	▲36.3	(▲33.3)	-	▲33.3	▲48.5	▲51.5	0.0	▲40.9
来期予測 (前期比)	-	-	-	(▲22.7)	(▲30.3)	(▲40.9)	(▲12.1)	(▲40.9)

## ② 製造業

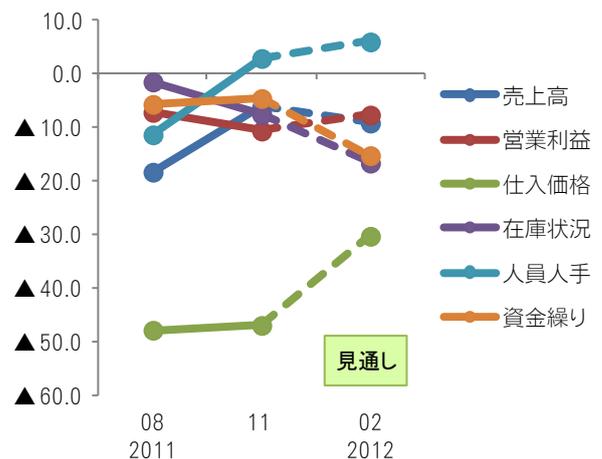
「自社の業況D I 値(前年同期比)」は▲4.5(22.2 ポイント上昇)で引き続き「悪い」超ながら回復となり、山形▲8.1(11.7 ポイント上昇)を上回った。「各種D I 値(前年同期比)」をみると、「売上高」が▲6.1(12.2 ポイント上昇)と回復している一方で、「営業利益」が▲10.6(3.5 ポイント下落)と悪化しており、利益面には引き続き厳しさが見られる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲6.1(1.6 ポイント下落)となり、円高の影響等に伴う下振れ懸念があるものの、ほぼ横ばいの見込み。

図表 6 製造業「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



図表 7 製造業「各種D I 値(前年同期比)」の推移



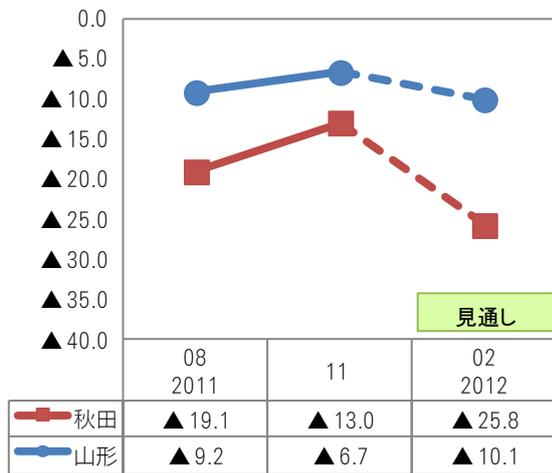
製造業 調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	(前期比)	前期予測							
H23.08 (n=071)	▲26.7	-	-	▲18.3	▲7.1	▲47.9	▲1.4	▲11.3	▲5.6
H23.11 (n=066)	▲4.5	(22.2)	5.7	▲6.1	▲10.6	▲47.0	▲7.5	3.0	▲4.5
(前期比)	-	-	-	(12.2)	(▲3.5)	(0.9)	(▲6.1)	(14.3)	(1.1)
H24.02 (n=066)	▲6.1	(▲1.6)	-	▲9.1	▲7.6	▲30.3	▲16.6	6.1	▲15.2
来期予測 (前期比)	-	-	-	(▲3.0)	(3.0)	(16.7)	(▲9.1)	(3.1)	(▲10.7)

### ③ 卸・小売業

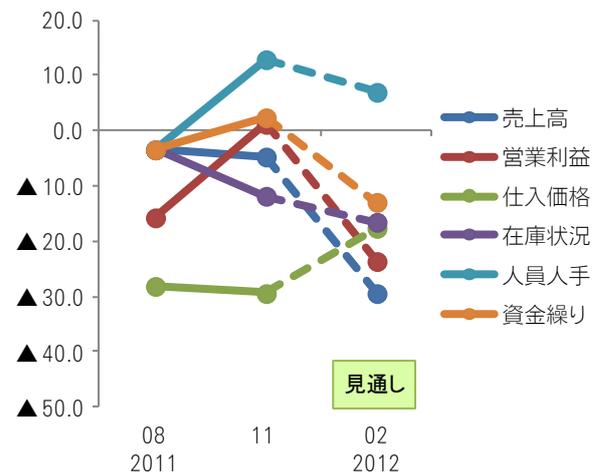
「自社の業況DI値(前年同期比)」は▲13.0(6.1ポイント上昇)と引き続き「悪い」超ながら回復の動きを示した。ただし、山形との比較では6.3ポイント下回っている。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「売上高」が▲4.7(1.3ポイント下落)とほぼ横ばいなのに対して「営業利益」は1.2(16.9ポイント上昇)と改善している。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲25.8(12.8ポイント下落)となり、再び悪化する見込み。

図表8 卸・小売業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表9 卸・小売業「各種DI値(前年同期比)」の推移



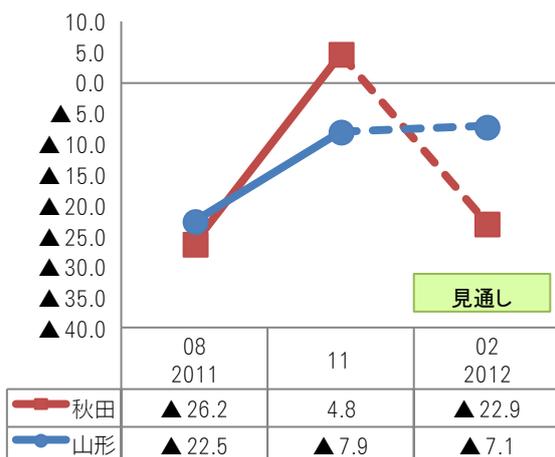
卸・小売業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	(前期比)	前期予測							
H23.08 (n=089)	▲19.1	-	-	▲3.4	▲15.7	▲28.1	▲3.4	▲3.4	▲3.4
H23.11 (n=085)	▲13.0	(6.1)	▲4.5	▲4.7	1.2	▲29.4	▲11.8	12.9	2.4
(前期比)	-	-	-	(▲1.3)	(16.9)	(▲1.3)	(▲8.4)	(16.3)	(5.8)
H24.02 (n=085)	▲25.8	(▲12.8)	-	▲29.4	▲23.6	▲17.6	▲16.5	7.0	▲12.9
来期予測 (前期比)	-	-	-	(▲24.7)	(▲24.8)	(11.8)	(▲4.7)	(▲5.9)	(▲15.3)

### ④ サービス業

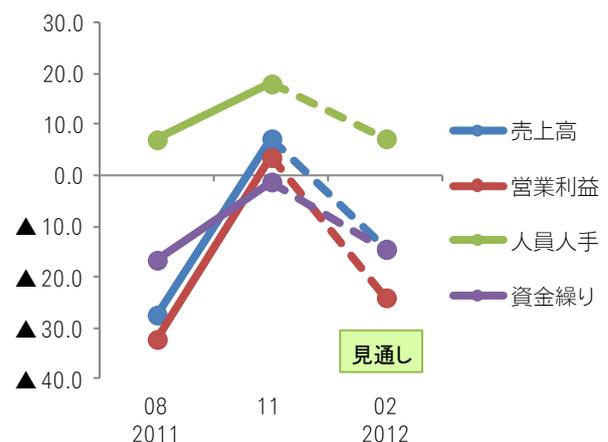
「自社の業況DI値(前年同期比)」は 4.8(31.0 ポイント上昇)と大幅に回復しプラスに転じた。山形との比較では 12.7 ポイント上回っている。「各種DI値(前年同期比)」でみると、「売上高」が 7.3(34.7 ポイント上昇)とプラスに転じるなど、すべての項目において改善が見られ、「人員人手」も 18.1(11.0 ポイント上昇)と不足感を強めている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲22.9(27.7 ポイント下落)となり、売上や利益の減少懸念が色濃く見られ、再び悪化する見込み。

図表 10 サービス業「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値(前年同期比)」の推移



サービス業 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
	(前期比)	前期予測					
H23.08 (n=084)	▲26.2	-	-	▲27.4	▲32.2	7.1	▲16.6
H23.11 (n=083)	4.8	(31.0)	▲19.0	7.3	3.6	18.1	▲1.2
(前期比)	-	-	-	(34.7)	(35.8)	(11.0)	(15.4)
H24.02 (n=083)	▲22.9	(▲27.7)	-	▲14.4	▲24.0	7.3	▲14.5
来期予測(前期比)	-	-	-	(▲21.7)	(▲27.6)	(▲10.8)	(▲13.3)

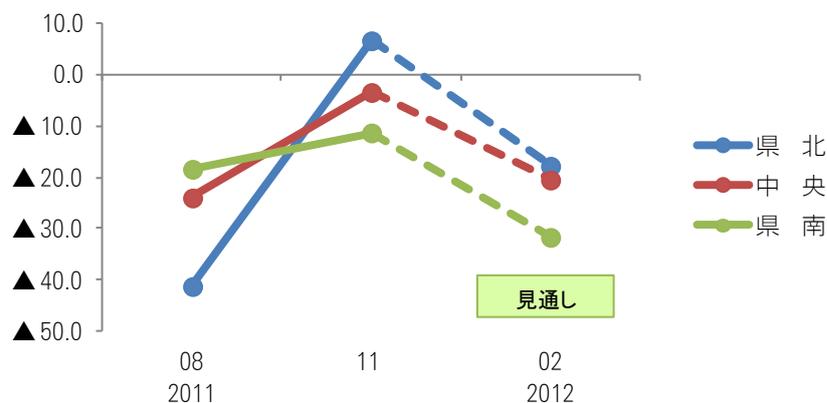
### 3. 地域別の動向

#### (1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値(前年同期比)」をみると、県北で6.7(48.0ポイント上昇)、中央で▲3.4(20.6ポイント上昇)、県南で▲11.3(7.1ポイント上昇)と3地域とも回復が見られた。特に県北の回復幅が大きく、前期の「悪い」超から「良い」超に転じている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が県北で▲17.8(24.5ポイント下落)、中央で▲20.5(17.1ポイント下落)、県南で▲31.7(20.4ポイント下落)となり、県北で再びマイナスに転じるなど、3地域とも悪化の見込みとなっている。

図表 12 地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



地域別 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)			
	全地域	県北	中央	県南
H 23.08 (n=312)	▲25.0	▲41.3	▲24.0	▲18.4
H 23.11 (n=300)	▲4.0	6.7	▲3.4	▲11.3
(前期比)	(21.0)	(48.0)	(20.6)	(7.1)
H 24.02 (n=300)	▲23.0	▲17.8	▲20.5	▲31.7
来期予測 (前期比)	(▲19.0)	(▲24.5)	(▲17.1)	(▲20.4)

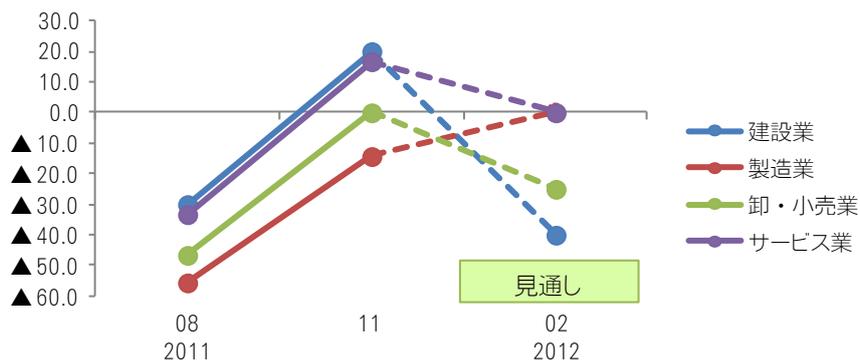
## (2) 地域別DI値の動向

### ① 県北

「自社の業況DI値(前年同期比)」は6.7(48.0ポイント上昇)とプラスに転じ、大幅な回復となった。業種別にみると、すべての業種で改善が見られ、製造業では▲14.3(41.3ポイント上昇)と依然「悪い」超ながら、建設業で20.0(50.0ポイント上昇)、サービス業で16.7(50.0ポイント上昇)とプラスに転じ、卸・小売業では0.0(41.3ポイント上昇)となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲17.8(24.5ポイント下落)と「悪い」超に転じており、再び悪化が見込まれている。製造業が改善を見込む一方、建設業は大幅な悪化の見通しとなっている。

図表 13 県北業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



県北		自社業況(前年同期比)				
調査時(サンプル数)		建設	製造	卸・小売	サービス	
H 23.08 (n=46)		▲41.3	▲30.0	▲55.6	▲46.6	▲33.3
H 23.11 (n=45)		6.7	20.0	▲14.3	0.0	16.7
	(前期比)	(48.0)	(50.0)	(41.3)	(46.6)	(50.0)
H 24.02 (n=45)		▲17.8	▲40.0	0.0	▲25.0	0.0
来期予測	(前期比)	(▲24.5)	(▲60.0)	(14.3)	(▲25.0)	(▲16.7)

## ② 中央

自社の業況D I 値(前年同期比)は▲3.4(20.6 ポイント上昇)と依然「悪い」超ながら、前期よりマイナス幅が縮小し回復となった。業種別にみると、卸・小売業では前期同様の▲6.0 と横ばいながら、他の業種では、サービス業が3.6(38.7 ポイント上昇)とプラスに転じたほか、建設業で▲10.5(24.6 ポイント上昇)、製造業で▲3.0(17.0 ポイント上昇)となり、いずれも改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲20.5(17.1 ポイント下落)と悪化の見込みとなっている。製造業の改善が見込まれる一方、特にサービス業の悪化が懸念される。

図表 14 中央業種別「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



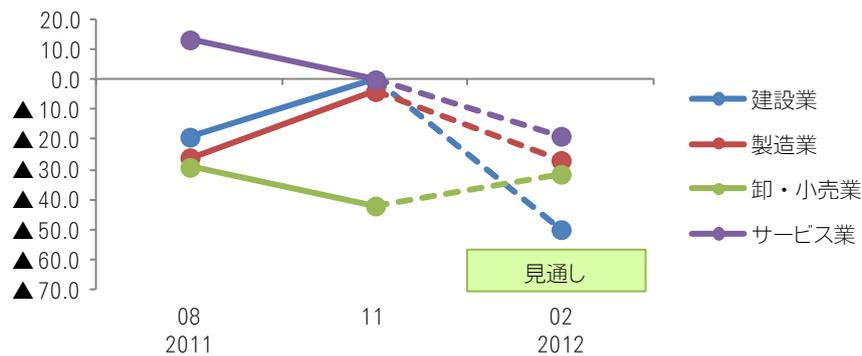
中 央 調査時(サンプル数)	自社業況 (前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 23.08 (n=179)	▲ 24.0	▲ 35.1	▲ 20.0	▲ 6.0	▲ 35.1
H 23.11 (n=176)	▲ 3.4	▲ 10.5	▲ 3.0	▲ 6.0	3.6
(前期比)	(20.6)	(24.6)	(17.0)	(0.0)	(38.7)
H 24.02 (n=176)	▲ 20.5	▲ 29.0	9.1	▲ 24.0	▲ 29.1
来期予測 (前期比)	(▲ 17.1)	(▲ 18.5)	(12.1)	(▲ 18.0)	(▲ 32.7)

### ③ 県南

自社の業況D I 値(前年同期比)は▲11.3(7.1 ポイント上昇)と引き続き「悪い」超ながら、前期よりマイナス幅が縮小し回復となった。業種別にみると、サービス業で 0.0(▲13.4 ポイント下落)、卸・小売業で▲42.1(12.9 ポイント下落)と悪化となった一方、建設で 0.0(19.1 ポイント上昇)、製造業で▲3.9(22.1 ポイント上昇)と改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況D I 値(前年同期比)」が▲31.7(20.4 ポイント下落)と再び悪化の見込みとなっている。特に建設業の業況悪化が懸念される。

図表 15 県南業種別「自社業況D I 値(前年同期比)」の推移



県南 調査時(サンプル数)	自社業況(前年同期比)				
	建設	製造	卸・小売	サービス	
H 23.08 (n=87)	▲18.4	▲19.1	▲26.0	▲29.2	13.4
H 23.11 (n=79)	▲11.3	0.0	▲3.9	▲42.1	0.0
(前期比)	(7.1)	(19.1)	(22.1)	(▲12.9)	(▲13.4)
H 24.02 (n=79)	▲31.7	▲50.0	▲26.9	▲31.5	▲18.8
来期予測 (前期比)	(▲20.4)	(▲50.0)	(▲23.0)	(10.6)	(▲18.8)

II. 景気の天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

秋 田 県

今期の業況 →

来期の見通し

県 北

→

中 央

→

県 南

→

今期の概況

来期の見通し

	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				



	秋田県	県北	中央	県南
全業種				
建設				
製造				
卸・小売				
サービス				

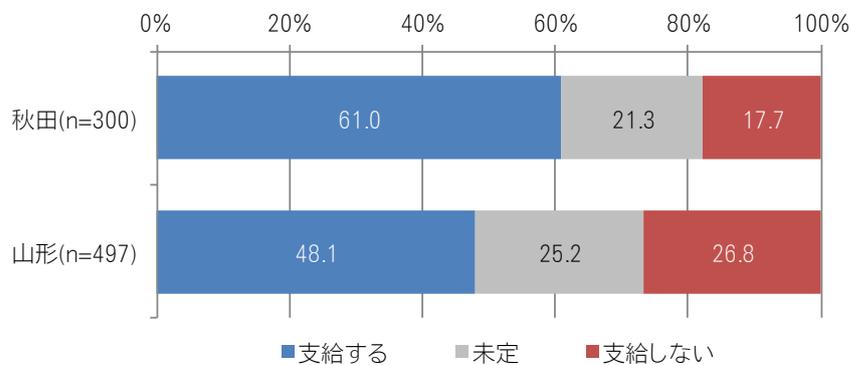
### Ⅲ. 特別調査 《冬季ボーナスの支給動向》

#### 1. 冬季ボーナスの支給動向

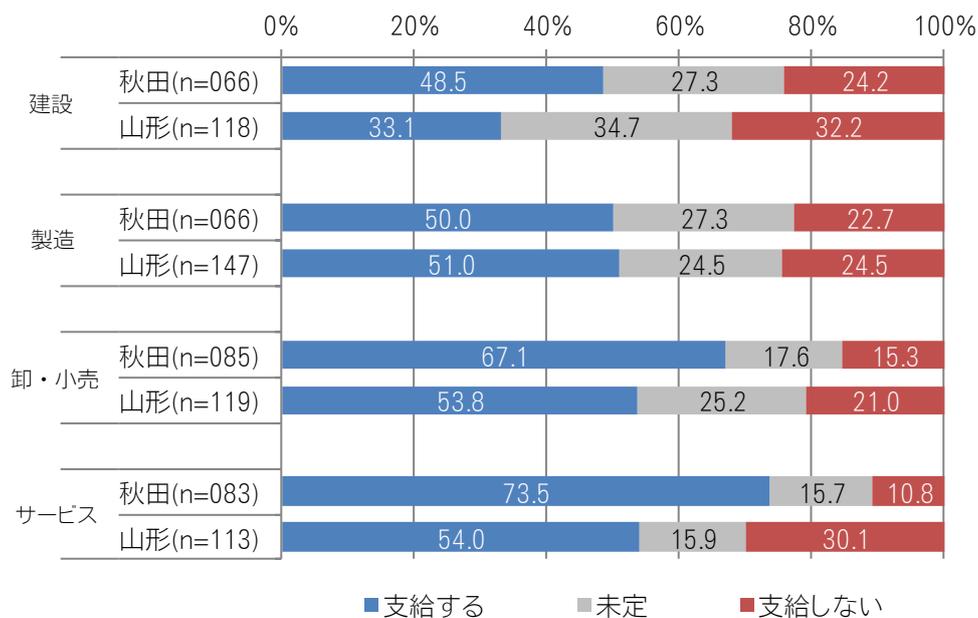
冬季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、全業種で61.0%が「支給する」と回答した。この割合を山形と比較すると秋田の方が12.9ポイント高い。

業種別にみると、「支給する」の割合は建設業で48.5%、製造業で50.0%、卸・小売業で67.1%、サービス業で73.5%となり、製造業以外の業種で秋田が山形を上回っている。特にサービス業で19.5ポイントとその差が大きい。

図表 16 「冬季ボーナス支給動向」両県比較



図表 17 業種別「冬季ボーナス支給動向」両県比較

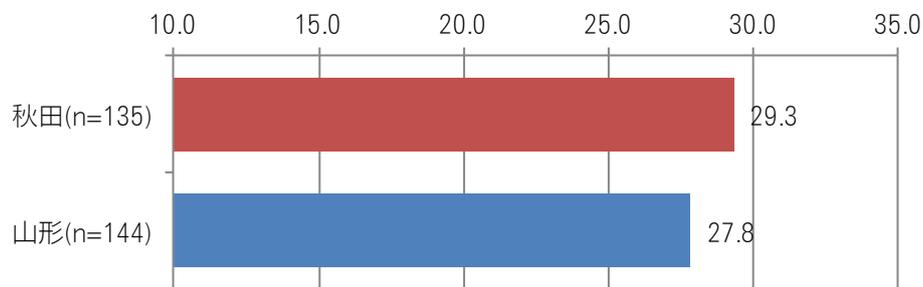


## 2. 冬季ボーナスの支給額

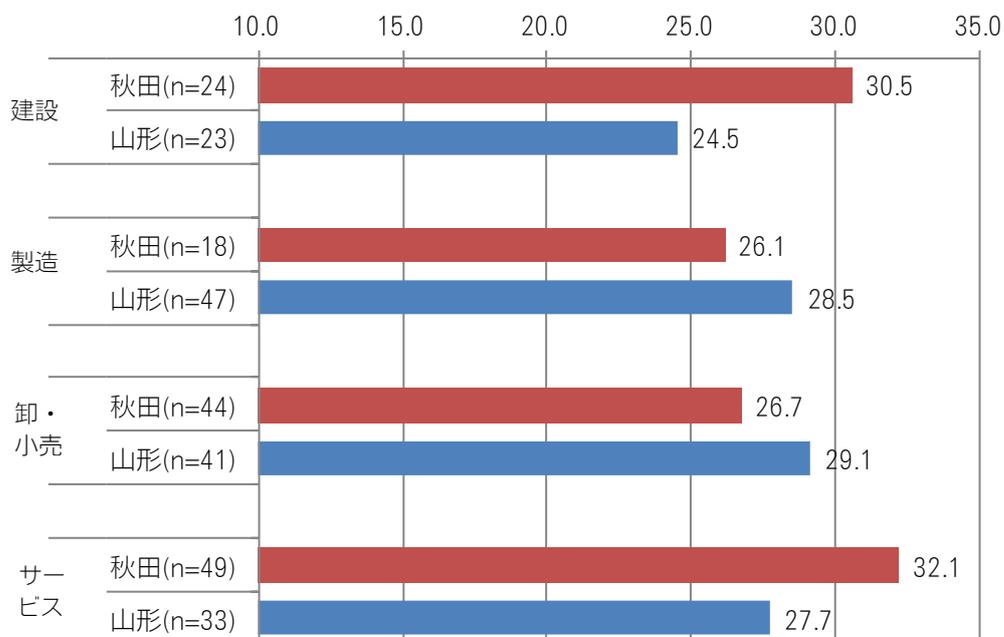
冬季ボーナスを「支給する」と回答した企業に対して支給額について尋ねたところ、全業種では29.3万円であった。これを山形と比較すると秋田の方が1.5万円高い。

業種別にみると、建設業が30.5万円、製造業が26.1万円、卸・小売業が26.7万円、サービス業が32.1万円となった。山形と比較すると建設業、サービス業では秋田の方が高いのに対し、製造業、卸・小売業では山形の方が高い。

図表 18 「冬季ボーナス平均支給額」両県比較



図表 19 業種別「冬季ボーナス平均支給額」両県比較



<参考資料Ⅰ：業種別・地域別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	15	12	20	15	62
中央	52	49	70	69	240
県南	26	37	31	24	118
合計	93	98	121	108	420

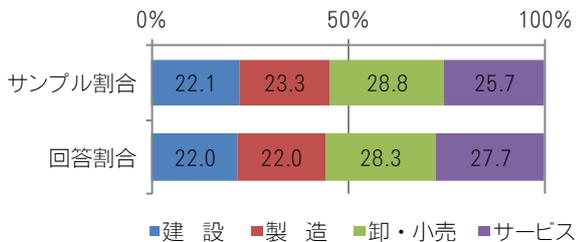
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	10	7	16	12	45
中央	38	33	50	55	176
県南	18	26	19	16	79
合計	66	66	85	83	300

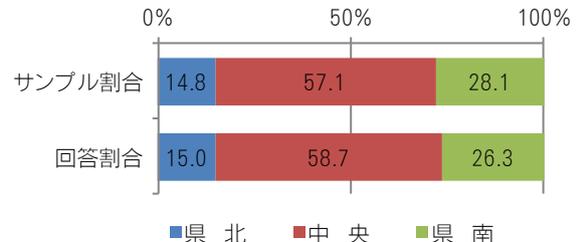
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
県北	66.7	58.3	80.0	80.0	72.6
中央	73.1	67.3	71.4	79.7	73.3
県南	69.2	70.3	61.3	66.7	66.9
合計	71.0	67.3	70.2	76.9	71.4

(業種別：%)



(地域別：%)



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した。

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査(一部FAXを利用)。

● 調査期間

平成23年11月2日～16日

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
県北	大館市、能代市、北秋田市、鹿角市、三種町、八峰町、小坂町、藤里町、上小阿仁村
中央	秋田市、由利本荘市、潟上市、男鹿市、にかほ市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村
県南	横手市、大仙市、湯沢市、仙北市、美郷町、羽後町、東成瀬村

## ● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について3肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている。

項 目	選択肢 (択一方式)		
自社の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い	2. さほど変わらない	3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない	2. ちょうどよい	3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった	2. さほど変わらない	3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
製(荷)品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった	2. さほど変わらない	3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた	2. さほど変わらない	3. 減った

(注)各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ3肢択一方式を採用している。

## ● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれD I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り。

例)自社の業況D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向(良くなっているか、悪くなっているか)についても分かる。

ちなみに、他のD I 値についても同様に、選択肢「1. 」(表 4「選択肢」欄をご参照のこと)を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する。

## <お知らせ>

F S N会員専用ホームページ(<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>)にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ(<http://www.f-ric.co.jp/>)「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

## <お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所 研究開発グループ 熊本均/後藤正彦/梅木倫行

### ・山形本社

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-21 荘銀山形ビル 8F  
TEL : 023-626-9017 Fax : 023-626-9038 E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp  
URL : <http://www.f-ric.co.jp>

### ・秋田本部

〒010-0001 秋田県秋田市中通 3-1-41 北都銀行本店 8F  
TEL : 018-837-1727 Fax : 023-834-5508